



平成 23 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大脇 功嗣
(J A S D A Q ・ コード 7519)
問合せ先
役職・氏名 総務経理部長 小林 光博
電 話 0568-76-1050

平成 23 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年 4 月 28 日に公表いたしました平成23年 3 月期（平成22年 4 月 1 日～平成23年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	1,200	10	5	△10	△1.65
今回修正予想（B）	1,040	△140	△150	△160	△26.34
増減額（B－A）	△160	△150	△155	△150	—
増 減 率	△13.3%	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	998	△124	△127	△164	△27.04

2. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	1120	10	5	△10	△1.65
今回修正予想（B）	940	△140	△150	△160	△26.34
増減額（B－A）	△180	△150	△155	△150	—
増 減 率	△16.1%	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	923	△127	△127	△164	△27.04

3. 修正の理由

景気は、政府の経済対策の効果や輸出の拡大に伴う企業収益の改善など、回復傾向がみられるものの、雇用環境の厳しさから消費者の節約志向・低価格志向は根強く、引き続き厳しい状況が続いております。当社グループを取り巻く事業環境も、カーテン市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は増加しているものの、デフレの進行により依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の下、当社グループは平成22年8月に「サザンクロス」の見本帳を改訂発表し、その効果により、平成22年10月以降の売上高は前年同期に比べ大幅に増加しておりますが、本来であれば平成21年改訂予定を、経済環境を考慮して平成22年8月に延期した影響が非常に大きく、売上高は当初の予想より減少となりました。

利益面に関しましては、デフレの進行により売上総利益率が当初の予想より低下したこと、見本帳「サザンクロス」の改訂に係る費用が予想より増加、カーテン事業以外の新商品及び新サービスを創造するため業務提携に係る費用の発生等により、損失が拡大する見込みとなりました。

また、東北地方太平洋沖地震の影響につきましては、平成23年3月31日公表の「東北地方太平洋沖地震」の影響に関するお知らせ（第2報）のとおりであります。

なお、個別業績予想の修正理由は、上記理由と同様であります。

(注) この資料に記載しております業績等の予想数値におきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上